



てら えんめいざんさいぞうじ  
このお寺は、延命山西蔵寺といます。

かいき かなな ねん がつ ねん じょうれんおしょうたくりょう ひえいざんくどくいん  
開基は、寛和2年11月(986年)、常蓮和尚澤了。比叡山功德院の

ごいちだい えしんそうず きっしょういんてんにょどう げんざい きっしょういん  
御一代である恵心僧都が、吉祥院天女堂(現在の吉祥院

てんまんぐう てんにょしゃ すいさつ ほっけはっこうたいほうえいじゆ つと さい  
天満宮・天女社と推察)において、法華八講大法營修を勤めた際、

たくりょうびく じこく ほんぞん いったいあた つた  
澤了比丘に自刻の本尊を一体与えたと伝えられています。

ご たくりょう しんじゃ てら こんりゅう ほんぞん ほうあん かいき  
その後、澤了は信者ととともに寺を建立し、本尊を奉安・開基し  
ました。

さいぞうじ せいざんじょうどしゅう まつじ すいそく じょうきょう  
西蔵寺が西山浄土宗の末寺になったと推測されるのは、貞享3

ねん ねん ごろ いご ねんいじょう せいざんじょうどしゅう  
年(1686年)頃です。以後、300年以上にわたり、西山浄土宗の

まつじ だんしんと おお かた まい  
末寺として檀信徒さまをはじめ、多くの方にお参りいただいております。

ます。

ほんぞん あみだにょらいぎぞう しゅみだん ぜんどうだいし む みぎがわ  
ご本尊は阿弥陀如来坐像です。須弥壇には善導大師(向かって右側)

ほうねんしょうにん どう ひだりがわ わきだん えんめいじぞうぼさつりゅうぞう どう みぎがわ  
と法然上人(同、左側)、脇壇には延命地藏菩薩立像(同、右側)

せいざんしょうくうしょうにん どう ひだりがわ まつ  
と西山證空上人(同、左側)が祀られています。